

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-09-03

なし

---

(発行年 / Year)

1910

一、理由、本章ハ財産編第二部第一章第一節ニ該當ス既成法典ハ財産編第二部第二章二分第一章ニ於テハ合意其他ノ義務ノ原因ヲ掲ケ第二第二章ニ於テハ義務ノ效力ヲ規定シ第三章ニ於テハ義務ノ消滅ヲ規定セリ而シテ各種ノ契約ニ至リテハ之ヲ財産取得編中ニ掲ケタリ此配置法タル理論上必ズスレモ當

### 第二章 契約

カサル可カラス果シテ然ラハ其煩雜決シテ少カラキル可レ故ニ本案ニ於テハ他ノ理想ニ基キ主トシテ編算上ノ便利ヲ量リ先ツ債權共者ニ關スル規定ヲ置キ然ル後其原因ヲ列舉スルノ順序ヲ採レリ既成法典ニ於テハ合意ナル文字ヲ用非テ當事者ノ意思ノ合致ニ基キ義務ノ原因ヲ示シタリ然レドモ合意ノ文字タルハ契約共者ヲ指示スルヨリモ寧ロ契約ノ要素タル當事者ノ意思ヲ投合ヲ示スニ用ユルヲ適當トス而テ其意思ノ投合ニ依リテ生スル法律行為ヲ名ケテ契約ト稱スベキナリ但我國ニ於テハ債務ノ原因タル契約ト他ノ法律關係ヲ生スルヲ以テ目的トスル合意トノ間ニ用語ノ差別ナク又之ヲ定ムルノ必要ナキヲ以テ契約ナル語ヲ廣義ニ用ユルコトニ定メタリ故ニ本案ニ用ユル契約ナル語ハ既成法典ノ合意ナル文字ト其意義ヲ異ニセサルモノト解スヘシ

### 第二章 契約

(理由) 本章ハ財産編第二部第一章第一節ニ該當ス既成法典ハ財産編第二部第二章二分第一章ニ於テハ合意其他ノ義務ノ原因ヲ掲ケ第二第二章ニ於テハ義務ノ效力ヲ規定シ第三章ニ於テハ義務ノ消滅ヲ規定セリ而シテ各種ノ契約ニ至リテハ之ヲ財産取得編中ニ掲ケタリ此配置法タル理論上必ズスレモ當ヲ失スルモノト言フコトヲ得ス只之ヲ一貫セシニハ各種ノ契約ヲ舉ゲテ義務ノ原因ニ關スル第二章ニ置カサル可カラス果シテ然ラハ其煩雜決シテ少カラキル可レ故ニ本案ニ於テハ他ノ理想ニ基キ主トシテ編算上ノ便利ヲ量リ先ツ債權共者ニ關スル規定ヲ置キ然ル後其原因ヲ列舉スルノ順序ヲ採レリ既成法典ニ於テハ合意ナル文字ヲ用非テ當事者ノ意思ノ合致ニ基キ義務ノ原因ヲ示シタリ然レドモ合意ノ文字タルハ契約共者ヲ指示スルヨリモ寧ロ契約ノ要素タル當事者ノ意思ヲ投合ヲ示スニ用ユルヲ適當トス而テ其意思ノ投合ニ依リテ生スル法律行為ヲ名ケテ契約ト稱スベキナリ但我國ニ於テハ債務ノ原因タル契約ト他ノ法律關係ヲ生スルヲ以テ目的トスル合意トノ間ニ用語ノ差別ナク又之ヲ定ムルノ必要ナキヲ以テ契約ナル語ヲ廣義ニ用ユルコトニ定メタリ故ニ本案ニ用ユル契約ナル語ハ既成法典ノ合意ナル文字ト其意義ヲ異ニセサルモノト解スヘシ

#### 第一節 總則

(理由) 本節ハ契約ノ成立、效力及ヒ解除ニ關スル規定ヲ掲ケタルモノナリ既成法典ニ於テハ契約ノ總則ト題スルモノナク契約ノ成立、效力及ヒ解除ニ關スル規定ハ所々ニ散在セリ其規定中ニ於テ一

般ノ法律行爲ニ適用スヘキモノハ探テ之ヲ第一編ニ置キ又權利義務ノ目的又ハ效力ニ關スル規定ト見ルヘキモノハ之ヲ前章ニ掲ケ又登記法ニ屬スヘキ性質ヲ有スルモノハ之ヲ登記法ニ讓レリ故ニ本節ニ於テ規定スル處ハ既成法典ニ比シテ其範圍多ク狹レト謂フ可ク然レトモ本節ノ規定ニレテ既成法典ニナキ處ノモノモ亦少ナレトセサルナリ

財産編第二百九十六條ハ法文トシテ之ヲ存スルノ必要ナク又契約ノ種類ニ關スル第二百九十七條乃至第三百三條ノ規定ノ如キモ法典全體ノ規定ニ依リテ自ラ明クナルヲ以テ之ヲ削レリ

第一款 契約ノ成立

(理由) 財産編第二章第一節第二款ニ於テハ合意ノ成立及ヒ有效條件ヲ規定セリ所謂有效條件トハ意思表示ノ瑕玼ヲ存セザルコト及ヒ能力欠缺セザルコト是ナリ然レトモ其規定ハ契約ニノミ適用アルモノニ非シテ汎ク一般ノ法律行爲ニ通用スルモノナリ故ニ本案ニ於テハ總則編ニ於テ之ヲ規定セリ蓋シ契約ハ當事者ノ一方ヨリ申込ヲ爲シ他ノ一方カ承諾ヲ爲スニ因リテ生スルモノナリ是レ契約ノ他ノ法律行爲ト異ナル所ナルヲ以テ本案ニ於テハ主トシテ此點ニ關シテ契約成立ノ要件ヲ規定セリ今既成法典ノ規定ニレテ本節ニ於テ採用セザルモノヲ舉ケレハ左ノ如シ

財産編第二百九條乃至第三百二十條ノ規定ハ之ニ修正ヲ加ヘテ第一編ニ置ケリ同第三百四條ニ於テハ合法ノ原因ヲ以テ其成立條件ノ一ト爲シタリ雖モ所謂合意ノ原因ハ要スルニ契約ノ意思ノ目的物又ハ緣由ノ外ニ出テス或學者ハ說ヲ爲レテ曰ク買賣ノ場合ニ於ケル原因ハ代價及ヒ物アリト果シ

テ然ラハ買賣ノ原因ト目的物ト室ヲ辨テ處ナキナリ又多數處者ノ唱フ所ヲ聞クニ聽ルノ原因ハ利益ヲ得シムルコト及ヒ善ヲ施サントスルコトニ在リト云ヘリ然レトモ所謂利益ヲ得文ハ善ヲ施スハ一ノ緣由ニ外ナラス又曰ク買賣ノ原因ハ所有權ヲ得シムルコト及ヒ代價ヲ得シムルコトニ外ナラスト若シ果レテ此ノ如クハ買賣ノ原因ハ買賣ノ意思ニ外ナラザルベシ之ヲ要スルニ原因ヲ以テ契約ノ特別ナル一ノ成立條件ト爲スハ其當ヲ得サルモノト謂ハサル可カラズ最近法典ニ於テハ契約ノ成立ニ原因ノ存在ヲ必要トスルコトヲ規定セシ探テ以テ模範ト爲ス可キモノト謂フ可ク以上述ノル所ニ依リテ見ルトキハ一般ノ契約ニ必要ナル要件ハ契約ノ目的物及ヒ當事者雙方ノ意思ノ一致ニ外ナラスト謂ハサル可カラズ然レトモ此事ニルヤ法文ヲ以テ之ヲ規定スルノ必要ナカル可レ故ニ財産編第三百四條乃至第三百六條ハ之ヲ削除シタリ同第三百七條前段ノ規定ハ言フヲ俟マズ其但書以下ハ甚ク穩ナラス何トナレハ此規定ニ依ルトキハ文字ヲ書スルコトヲ得サル者ハ承諾ヲ與フルカ爲メ首肯スルコトアルモ契約ハ成立セザルノ結果ヲ生ス可ケレハナリ同第三百八條ハ契約ヲ成立ニ關スル規定ニレテ極メテ必要ナリト雖モ又喜不完全ナル點アルヲ以テ本案ニ於テハ別ニ規定ヲ設ケテ之ヲ補ヒタリ同第三百二十一條第一項ノ規定ハ言フヲ俟マズ加之ナラズ其文字ヨリレテ解釋ヲ爲ストキハ射倂契約ニ非サル場合ヲモ包含スル觀ヲリト謂フ可ク同條第二項ノ如キ場合ハ實際ニ於テ極メテ稀ナルヘク假令實際ニ生スルコトアルモ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルノ理由ニ依リ又ハ目的物ノ定マラサルノ故ヲ以テ無効ト爲スコトヲ得ヘレ同第三百二十一條第一項ハ言フヲ俟マ

ス其第三項ハ他人ノ行為ヲ目的トスル契約ハ無効ナルコトヲ規定セリ然レトモ此契約ニ依リテ當事者カ債務ヲ負フコトニ至ルハ敢テ妨ナレ只債權ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ其不履行ノ責任ニ依リテ一般ニ之ヲ無効トスルハ多數ノ場合ニ於テ却テ當事者ノ意思ニ悖ルヘシ第三項以下ハ之ヲ撤クノ必要ナレ故ニ同條ハ全部之ヲ削除セリ同第三百二十三條ハ他人ノ利益ヲ目的トスル契約ニ關スル規定ナリ既成法典ハ羅馬法以來ノ主義ニ依リテ此契約ヲ無効トナセリ蓋シ當事者ノ非キタルヲ以テ權利ヲ取得ス可キモノニ非ラス要約者ハ金錢ニ見積ル可キ利益ヲ有セザルヲ以テ契約ノ原因ヲ缺カ爲メ無効ナリト謂フニ在ラレ然レトモ本案ニ於テハ債務ノ目的ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ルモノニ限ラス又契約ノ成立ニハ原因ノ存スルコトヲ必要トセザルノ主義ヲ採リタルヲ以テ此契約ニ依リテ要約者ノ債權者トナル可キコト論テ此契約ノ結果トシテ第三者カ權利ヲ取得ス可キモノナルヤ否ヤハ契約ノ效力ニ關スル規定中ニ於テ之ヲ決セリ從テ同條ハ全部之ヲ削除セリ又同第三百二十四條及ヒ第三百二十五條ハ前ノ第三百二十三條ト牵连スルモノナルカ故ニ均シク之ヲ削除セリ又同第三百二十六條ノ規定モ原因ニ關スルモノナルヲ以テ之ヲ削リ

第五百十八條

(理由) 本條ハ財產編第二百八條第三項及ヒ商法第二百九十二條並ニ第二百九十七條ノ規定ヲ採用シタルモノニ外ナラス然レトモ第三百八條第二項ノ但書及ヒ商法第二百九十七條ノ末文之ヲ削リテ何トナレハ別段ノ定キ限リハ意思表示ハ相手方ニ到達シタル時ニ於テ其效力ヲ生スルモノ

ノトシタルカ故ニ申込ノ到達スルニ先ナテ取消ノ通知ヲ到達シタルキハ取消ハ其效力ヲ生ス可カラサルコト言フ俟タサレハナリ諸外國ノ法律殆ト皆本條ニ規定セル如クニ定マレリ茲ニ注意ス可キハ本條ノ規定ニ反スル意思表示又ハ慣習ノ存スル場合ナリトス此ノ如キ場合ハ實際少カラサル可ク而テ其效力ヲ有セサル可カラサルハ論テ然レトモ別段ノ意思表示又ハ慣習ヲ認ムル規定ハ已ニ總則編中之ヲ掲ゲタルヲ以テ此ニ之ヲ明言スルノ必要アラザルナリ

既成法典ニ於テハ言込ナル文字ヲ用キザリト雖モ普通ノ用例ニ從ヒテ之ヲ申込ナル文字ニ改メザリ又承諾ナル文字ハ受諾ナル文字ヨリ其意義一層明瞭ナルヲ以テ受諾ヲ改メテ承諾トシタリ

第五百十九條

(理由) 本條ハ獨逸民法草案ノ規定ニ倣フテ設ケタルモノナリ既成法典ニハ本條ノ如キ規定ナキヲ以テ承諾ノ通知ノ延著スルコトアルモノ申込人ハ何等ノ行為ヲモ爲スコトヲ要セズ唯契約ノ成立セザル結果ヲ生スルニ過キス是レ前條ノ規定ヨリ生スヘキ當然ノ結果タルヘシ然レトモ此ノ如キ場合ニ於テハ承諾者ノ承諾ノ適當ノ時期ニ到達シタルモノナルコトヲ信スルヨリテ契約成立セルコトヲ疑ハサル可シ故ニ若レ延著ノ通知ヲ受ケザルニ於テハ承諾者ハ不測ノ損害ヲ蒙ルニ至ルヘシ是ヲ以テ本條ノ如キ規定ヲ設ケルニ非サレハ取引ノ安全ヲ維持スルコト能ハサルナリ瑞士債務法ニ於テハ延著ノ通知ヲ爲スコトヲ怠リタル申込者ハ損害賠償ノ責任ヲ負フコトヲ規定セリ然レトモ損害賠償ノ請求ヲ爲スニハ時日ヲ要シ且實力ヲキ場合ニハ其實效ナル可シ故ニ本條ニ於テハ一ノ假

想ヲ設ケ以テ承諾者ヲ保護シタル然レトモ承諾者ヲ保護セントスルカ爲メ又申込者ノシテ意外ノ不利益ヲ蒙ラレムルコトアル可カラス故ニ申込者ハ延著ノ通知ヲ發スルキハ本條ノ制約ヲ受ケルコトヲ免ルベシトナシテ其通知ノ果シテ承諾ニ到達スルヤ否ヤヲ問ハサルナリ

第五百二十條

(理由) 本條ノ規定ハ獨逸民法草案ノ規定ト類似スル處アリ獨逸レタル承諾ヲ爲シタル者ハ申込ヲ旨ニ趣ト同ノ契約ヲ爲サントスルノ意思ヲ有スルモノナルカ故ニ申込者ヲシテ其遲延シタル承諾ヲ以テ新ナル申込ト見做スコトヲ得シムルヲ可トス而シテ若シ本條ノ規定ヲキリテ果シテ其結果ヲ生スルベシ願ヒ疑アリト謂フ可シ

第五百二十一條

(理由) 承諾ノ期間ヲ定メシテ隔離者ニ申込ヲ爲シタル場合ニ付キテハ諸國ノ立法例ニ於テ三種ノ主義アリ第一ノ主義ハ申込者カ何等ノ拘束ヲモ受ケサルモノトシ第二主義ハ申込者ノ相當ノ期間内ハ申込ヲ取消スコトヲ得サルモ其期間ノ經過後ハ申込カ當然消滅ス可キモノトシ第三主義ハ申込ハ相當ノ期間内之ヲ取消スコトヲ得ス又其期間ノ經過後ニ於テモ取消ヲ爲サハ期間ノ申込ハ其效力ヲ有スルモノトセリ第一ノ主義ハ全ク申込者ヲ無責任トスルモノニシテ契約取引ノ安全ヲ害スルコト少ナレトセス又第二ノ主義ハ商事ニ於テハ往々好結果ヲ生スルコトアルヘレト雖モ毎ニ營業者ノ意思ニ適合スルノ結果ヲ生スルモノト謂フ可カラス一行ノ通知ヲ以テ何時ニテモ申込ヲ取消スコトヲ

得ル以上ノ期間満了ノ一事ヲ以テ當然其效力ヲ失フモノトセサルノ便ケルニ若カサルナリ  
既成法典ハ果シテ何レノ主義ヲ採リタルモノナルヤ條文不充分ナル爲メ願ヒ明瞭ヲ缺ク然レトモ  
第二ノ主義ヲ採リタルニ非サルコトハ殆ト疑フ存セス商法ニ第二百九十七條ニ於テ申込ヲ取消ヲ許ササルコトハ明ナリト雖モ取消キ限リハ其效力ヲ有スルモノトスル主義ハ之ヲ探フ事(二九三)本案ニ於テハ瑞士債務法及ヒ印度契約法等ノ例ニ依リ第三ノ主義ヲ至當ト認ムルヲ以テ之ヲ採用セ

第五百二十二條

(理由) 申込ハ一ノ意思表示ナルヲ以テ本案第九十八條第二項ノ適用ヲ受ケサルヲ得ス然レトモ反對ノ意思表示ナルトキハ其適用ヲ失ハサル可カラレト又論ヲ依テス而シテ右第九十八條第二項ハ反對ノ意思ヲ容レサルカ如キ觀アルヲ以テ特ニ之ノ明白スルノ必要アリ既成法典ニ於テハ申込者カ死亡シ又ハ能力ヲ喪失シタルモ相手方カ之ヲ知ラサル間ハ申込ハ其效力ヲ失ハサルコトヲ規定セリ此ノ如ク相手方ノ知不知ニ依リテ申込ノ效力ヲ左右スルハ商事ニ於テハ或ハ其當ヲ得サル可レト雖モ民法ノ規定トシテハ其宜レキヲ得タルモノト信スルヲ以テ本案ニ於テハ既成法典ノ主義ヲ採用セリ蓋シテ此主義ハルヤ能ク當事者ノ意思ト申込ノ性質トニ適合スルヲ以テナリ

第五百二十三條

(理由) 本案ニ依テハ隔離者ニ對スル意思表示ノ總則トシテハ受信主義ヲ採リタリト雖モ契約ニ付テ

ハ取引ノ圓滑ト迅速ヲ期スルカ爲メ茲ニ發信主義ヲ採リ各地ノ商業會議所及ヒ實業家ノ意見ニ徵スルモ其多數ハ發信主義ヲ是トセリ加之承諾ノ通知カ未キ申込者ニ到達セザルニキト雖モ其取消ヲ許スヲ以テ不可トナセリ又本條第二項ニ於テ發信主義ヲ採リタリト雖モ若キ承諾ノ通知ヲ發スルニ非サレハ契約ノ成立ヲ來ササルモノトセハ其不便極メテ大ナルヘキヲ以テ第二項ノ規定ヲ設ケタリ即チ例ヘハ注又ヲ受ケテ貨物ヲ發送シ又ハ製造ニ著手シタリ如キハ承諾ノ意思表示ト認ムヘキ事實中ニ算フルコトヲ得ヘレ

第五百二十四條

(理由) 本條ハ第五百十九條ト同一ノ精神ニ出クモナリ既成法典ハ財産編第三百八條第六項ニ於テ郵便電信ノ錯誤ハ差出入ノ責ニ歸ス可キコトヲ規定シタルヲ以テ本條ノ如キ場合ニ於テハ申込者ノ不利益ニ解釋セサルヲ得ヌ若斯ノ如クナレハ申込者ハ不測ノ損害ヲ蒙ルニ至リ取引ノ安全ヲ害スルコト少テテカウサル可レ凡ソ通知ノ發著スルハ意外ノ事變又ハ運送者ノ過失ニ出ワルモノナルヲ以テ若キ申込者ヲ取消ノ通知ノ發著シタル旨ノ通知ヲ受ケサルニハ取消ノ通知ヲ適當ノ時ニ到達シタルコトヲ信ス可キナラニ共無理ナラサル意見ニ反シテ契約成立セルモノト爲スハ懸テ過タルモノト謂ハサレヲ得ス故ニ本條ニ於テ承諾者ニ發著ノ通知ヲ爲スノ義務ヲ負ハレメ以テ買賣ノ公平ヲ得シコトヲ欲セリ

第五百二十五條

(理由) 本條ノ規定ハ諸國ノ商法ニ於テ之ヲ見ルト雖モ民法ニ於テハ多ク之ヲ見ス其取引ノ圓滑ト迅速トヲ期スルニ於テ必要ナルハ論ヲ俟テ我商法ハ第二百九十六條ニ於テ契約提供ニ對シテ條件ヲ附シ又ハ變更ヲ加ヘテ爲ス承諾ニ在テハ提供者ハ其選擇ヲ以テ之ヲ純粹ノ拒絕ト見做シ又ハ被提供者ヨリ更ニ爲シタル提供ヲ得トヲ得ト規定セリ此規定ニ依ルキハ申込者ハ相手方ノ意思ニ反スルトアルニモ拘ハラズ隨意ニ其行爲ノ性質ヲ定ムル特權ヲ有スルコトニ爲リ甚々變態ナラス凡ソ此ノ如キ事項ハ當事者雙方ノ便宜ヲ主眼トシテ規定スルコトヲ要スルナリ

第五百二十六條

(理由) 前八條ノ規定ニ關シテハ屢ク反對ノ意思表示又ハ慣習アル可ク殊ニ其規定ハ商法中ニ別段ノ定ナキ限りハ商事ニモ適用スヘキモノナルカ故ニ實際反對ノ意思表示又ハ反對ノ慣習ニ依リテ前八條ノ適用ヲ制限スルコト極メテ多ク可レ故ニ本條ニハ一括シテ其反對ノ意思表示又ハ慣習ヲ容ルルコトヲ規定シタリ

第五百二十七條

(理由) 本條以下ニ規定スル事項ニ付キテハ種々ノ問題ヲ生ス可シ雖廣告者ヲレテ一定ノ義務ヲ負ハレム可レト云フニ至リテハ蓋シ異論ナカル可レト雖モ其義務ノ何タルヤ又其何レノ時ニ於テ發生ス可キモノナルヤ又廣告ヲ取消シ得可キモノトスヘキヤ若レ之ヲ取消シ得可キモノトセハ果テ何レノ時マテ其取消ヲ爲スコトヲ得ルヤ又廣告ニ應ジテ或行爲ヲ爲マル者數人アルトキハ其權利ハ如何ニ

レテ之ヲ定ム可キヤ等ノ問題ニ至リテハ學說ノ區々トシテ一定セザルハ自ラ免レザル所ナリ他民法  
 其他殆ド何レノ國ノ法典ニ於テハ之ニ關スル規定ナレト雖モ今日ノ如ク實際ニ於テ此種ノ廣告ヲ見  
 ルコト極メテ多キ時ニ當リテハ特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケルコト極メテ必要ナリト謂フ可レ此規  
 定ヲ爲スニ當リテ先テ第一ニ生テ可キ問題ハ廣告ノ申込ヲ設ケルルヤ又ハ特別ノ單獨行為ナルヤノ問題ナ  
 リト多數ノ學說ニ依レハ廣告ハ申込ニ依レテ之ニ應ジテ或行為ヲ爲スルハ即チ默示ノ承諾ナリトセ  
 リ又或學者ハ廣告ハ申込ノ要件ヲ具ヘサルモノニ依レテ或行為ヲ爲ス者アルニ至リテ始メ  
 テ純然タル申込トナルモノナリトセリ思フニ此兩說ハ何レモ極端ニ失スルモノニ依レテ廣告ノ種類如  
 何ニ依リテ其性質ヲ定ムヘキモノト信スルナリ本法ニ於テハ固ヨリ各種ノ廣告ニ付テ規定ヲ設ケル  
 コトヲ得ズ然レトモ大條ノ場合ニ於テハ其廣告ヲ申込ト見ルニ一種ノ單獨ナル約束ト見ルニ付テ  
 ハ學說及立法例ノ分カサル所ナリト雖モ其行為ヲ爲セル者ニ對シテ廣告者ヲ報償シ拂フ義務ヲ  
 負フヘキコトニ付テハ殆ト異說アルヲ聞カサルナリ普通ハ之ヲ以テ一種ノ申込ト爲スモノノ如ク唯  
 獨逸民法草案ハ之ヲ以テ承諾ヲ俟タズステレ義務ヲ生ス可キ一單獨行為ナリトセリ然レトモ同草案  
 ハ實際ノ便宜上ヨリ其主義ヲ實カスレテ廣告ノ取消ヲ許セリ今獨逸民法草案ノ單獨行為說ヲ採リタ  
 ル結果ニ於テ著レテ契約主義ト異ナル所ハ廣告ヲ知フスレテ廣告ニ指定セル行為ヲ爲セル者モ亦  
 廣告ニ於テ然レトモ報償ヲ得ルニ在リトス然レトモ斯カル場合ハ實際極メテ稀ナルモノトナス廣告  
 ヲ知ラズレテ廣告ニ指定セル行為ヲ爲セル者ニモ報償ヲ與フヘキモノトスルハ蓋シ其必要ナカ  
 ル

可レ果シテ然ラハ單純行為說ヲ採ルノ實用ハ全ク存セザルナリ本案ニ於テハ法律ノ規定ヲ以テ學說  
 ヲ決スルコトヲ避ケルノ主義ヲ採リタルヲ以テ廣告ノ如キニ至リテモ承諾ニ依リテ契約ノ效力ヲ生  
 スル一ノ申込タルヤ又ハ單純行為ナルヤヲ決スルコトヲ欲セス故ニ意ヲ用テ申込及ヒ承諾ノ文字  
 ヲ用ユルコトヲ避ケテ共レ此ノ如クナルカ故ニ學者或ハ廣告ヲ以テ契約ノ成立ニ一要素ナル申込  
 ナリト解スル者アル可ク又ハ之ヲ以テ一單純行為ナリト説ク者アル可ク若シ契約說ヲ採ルトキハ  
 本節中ニ其規定ヲ置クト固ヨリ當然ナル可レ然レトモ又之ヲ以テ一單純行為ナルモノト爲スルモ適當ノ單  
 純行為ト異ナリテ大ニ契約ノ類スル所アルカ爲メ本節ニ於テ之ヲ想定スルハ必ズ不當ノ事ニ非  
 カルヲ信スルナリ之ヲ要スルニ本案ニ於テハ廣告ノ性質ヲ定ムルヲ目的トセズレテ廣告ヲ爲セル者  
 ノ義務ヲ規定シタルナリ

第五百二十八條

(理由) 本條第一項ハ取消ノ方法ト時期ヲ定ムルモノナリ廣告ヲ以テ取消シ得可キモノトスルコ  
 トニ付テハ蓋シ異論ナキ所ナル可レ唯取消ノ方法ト時期トニ至リテハ議論ナキ得ズ今若シ廣告者  
 ノ指定レタル行為ニ著手シタル者アリタル時ヨリ取消ヲ許サズトセハ其ノ時期ノ不確實ナルヨリレ  
 テ紛争ヲ生スルヲ免レザル可レ加之テ廣告者ノ指定レタル行為ノ終了セザル間ハ廣告者ニ於テ  
 取消ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルハ當事者ノ意思ニ適シタルモノト謂ハサル可カラズ只其取消ノ方法  
 ハ廣告ノ方法ト同一ナラザル可カラザルモノトスルハ第二項ノ爲メニ必要ナリト今假リニ本條ノ

規定ヲ設ケサルモ、トセハ契約説ヲ採ル者ハ、黙示ノ承諾ヲ理由トシテ、原告者ノ指定シタル行為ニ著手スル者アルトキハ、最早取消ヲ爲スコトヲ得サルモノト解釋スルニ至ル可キヲ以テ、ウヲ置クノ必要ナルコト論ヲ俟テ、ス獨逸民法草案ノ如キモ、單獨行為説ヲ採リタルニ拘ハラス、原告者ノ意思ヲ參照シ、其責任ノ重キニ失スルコトナカラシムル爲メ、行為ヲ完了スル者ノ中間ハ、原告ヲ取消スコトヲ許セ

第二項ハ、初メニ原告ヲ爲タル方法ニ依リテ取消ヲ爲スコト能ハサル場合ニ付キテ設ケタルモノナリ、但書以下ハ、原告者ノ爲メ少ク不利益ナリト雖モ、第三者ヲ保護セントセハ、勢ヒ此ノ如クナラサル可カラサルナリ

第三項ハ、意思解釋ノ規定ニ外ナラズト雖モ、疑ノ生スルコトヲ避ケル爲メ、之ヲ置キタリ

第五百二十九條

(理由) 本條ノ第一項ノ場合ニ於テハ、原告者ハ、通常數人ニ報酬ヲ與フルノ意思ニ非サルコト明ナリ、然レトモ若シ明文ヲ以テ之ヲ規定セザルトキハ、果シテ本條ノ如キ結果ヲ生スルヤ疑ナキ能ハス又第二項ノ規定ハ、原則トシテ平等ノ割合ヲ以テ報酬ヲ分配スルヲ至當ト信セムルヲ以テ之ヲ置キ、第三項ハ、原告者ノ反對ノ意思ニ效力ヲ附シタルニ過キス

第五百三十條

(理由) 本條ハ、懸賞廣告ノ場合ニ關スルヲ以テ前二條ノ場合ト異ナル規定ヲ設ケルヲ必要トス、此場合

ニ於テ、懸賞期間ノ定ナキトキハ、實際優等者ヲ確知スルコト能ハサルヲ以テ、懸賞者ハ、遂ニ報酬ノ請求ヲ爲スコト能ハサルニ至ル可キナリ、又本條ノ場合ニ於テハ、前二條ノ場合ト異ナリテ、優劣ノ判定ヲ爲ス必要アリ、從テ其判定ニ關スル規定ヲ設ケサルヲ得サルナリ